

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐくみの家 ピジョン		
○保護者評価実施期間	2024年9月9日		～ 2024年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年9月9日		～ 2024年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に合わせた活動内容	こどもの状態に合わせて内容や道具を変えるなど、こどもたちが興味をもって取り組めるように工夫している	今まで取り組んでこなかった活動への挑戦 新しい情報へのアクセス
2	個々の子どもに適応した緊急時マニュアルの整備	こどもの持っている疾患や状態に合わせて緊急時対応フローチャートを作成し保護者への説明・同意を得ている	定期的にマニュアルやフローチャートを更新していく
3	保護者への説明や情報交換	送迎やこどもの引き渡し時などに文書や口頭で日々のこどもの様子や医療的ケア等の状況、家庭での状況など情報交換をしている	現状の方法を継続していくとともにSNSなどを用いて更に簡単に情報発信や伝達出来るように工夫していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部機関との情報交換等	利用前の施設、地域や関連機関との情報共有や協議会への参加等が十分になされていない	協議会など外部との関りが増やせるよう積極的に参加や情報発信を行っていく
2	地域住民や放課後児童クラブ等との交流	地域住民や他施設との情報交換・交流機会の欠如	地域住民との交流イベントへの参加や避難訓練等の協力に向けての取り組みが必要
3	保護者への情報共有や事業所見学などの機会	情報伝達方法が掲示のみ等になってしまい、保護者への説明・周知が十分ではない 事業所見学等の機会が十分でない	研修や訓練の実施の際に保護者に伝わりやすい方法で周知していく工夫が必要 保護者が参加できるイベントの開催や見学できる機会を設ける必要がある